

泌尿紀要
Acta Urol. Jap.

Vol. 28, No. 8 ACTA UROLOGICA JAPONICA

August 1982

泌尿器科紀要

第28巻 第8号 1982年8月



群馬大学泌尿器科学教室における腎細胞癌の臨床集計

(特に予後決定因子について).....	山中 英寿・ほか	941
FT-207 と 5-FU の経膀胱吸収に関する比較.....	都田 慶一・三品 輝男	949
腎結石における術中写真.....	梅津 敬一・ほか	953
多発性肺転移を伴う浸潤性尿路上皮癌の1治験例.....	木原 和徳・ほか	959
膀胱血管腫の1例.....	内田 克紀・ほか	967
複雑性尿路感染症に対する Fosfomycin と Dibekacin		
併用投与の検討.....	河田 幸道・ほか	973
前立腺肥大症に対する Allylestrenol (Gestanon) の臨床的効果		
一経直腸的超音波断層法による前立腺の形態および重量の		
変化について.....	吉田 英機・ほか	981

第31回 泌尿器科中部連合総会シンポジウム

腎結石に対する腎保存手術の適応と予後

(司会: 阿曾 佳郎)

腎切石術の予後について.....	高羽 津	989
腎切石術の手術々式.....	井口 正典	997
腎局所冷却による腎切石術について.....	伊集院真澄・ほか	1007
腎洞内腎盂切石術について.....	高崎 登	1019
手術方法と術後の腎機能.....	川村 寿	1027
腎結石に対する腎体外手術について.....	田島 惇・阿曾 佳郎	1041
新しい手術法: Dismembered Pyelolithotomy	大島 伸一	1051
Coagulum Pyelolithotomy 51症例の経験	戎野 庄一	1057
新しい手術方法一超音波穿刺術による経皮的腎尿管切石術.....	齊藤 雅人	1063

Editor: Prof. Osamu YOSHIDA, M.D.
Department of Urology, Faculty of Medicine,

Kyoto University, Kyoto Japan 606

京都大学医学部泌尿器科学教室

禁 帯 出

到着後 1ヶ月間

編集後記

卒業教育について(Ⅲ).

プライマリー・ケアの教育をいつするか、これは大きな問題である。

プライマリー・ケアは理想的には卒前に教育しておくべきで(現在の教育制度のままていくとして)そのためにプライマリー・ケアの講座あるいは診療科を各大学におかねばならないと考える。医学部卒業者の約50%はプライマリー・ケア医になるという事実と、専門医(超専門医というべきか)になるためにもプライマリー・ケア教育は絶対に必要だからである。

現状はどうか。わが国では、ほとんどすべての大学で、プライマリー・ケアの教育がなされておらず、超専門医になるための教育が、明らかな目的意識もなくおこなわれており、プライマリー・ケアをやるものは、専門医になりそなた者であるかのように思われている。これは大きな間違いである。(O. Y.)

購読要項(1982年6月改定)

1. 発行は毎月、年12回とし、年間購読者を会員とする。
2. 会員は年間予約購読料5,000円(送料とも)を前納する。払込みは振替に限る。口座番号 京都4772番 泌尿器科紀要編集部宛。
3. 入会は氏名(フリガナ)、住所(雑誌郵送先)、勤務先を記入のうえ編集部あて、はがきにて申し込む。

投稿規定(1982年6月改定)

1. 投稿: 連名者を含めて会員に限る。
2. 原稿: 泌尿器科学領域の全般にわたり、総説、原著、症例報告、そのほかで和文または英文とする。
 - (1) 長さは制限しないが簡潔にする。
 - (2) 和文原稿はB5版400字詰原稿用紙横書き、楷書、当用漢字、現代かなづかい、平がなし、清書する。文中欧語の固有名詞は大文字で、普通名詞は小文字で始め、タイプし、年号は西暦とする。
 - (i) 原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名の順に和文、英文で併記する。下段に筆頭著者名(山田:または山田・ほか:)と、2語(例:前立腺がん・PSAP)からなる running title および5語(英文)以内の key words を付す。
 - (ii) 英文抄録: ダブルスペースでタイプし、その和訳をつける。
 - (3) 英文原稿はダブルスペースでタイプし、原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名、key words(和文に準ず)、running title(和文に準ず)の順にタイプし、別に標題、著者名、所属機関名、抄録の順に記した和文抄録を付す。
 - (4) 数字はすべて算用数字を使用し、単位 m, cm, mm, l, ml, kg, g, mg, μ g, %, °C, pH などとする。
 - (5) 図、表、写真などはすべて別紙とし、写真はト

リミングする。説明は和文、英文を問わず Table 1, Fig. 2. などとし、なるべく英文とする。原稿右欄外に挿入さるべき位置を明示する。とくに図・表は必ずタイプまたは楷書で清書し、誤りのないことを確認する。様式については本誌の図・表を参照する。

- (6) 引用文献は必要最小限にとどめ、引用箇所を本文中に入れる。和文は楷書で、欧文はタイプする(例: 山田^{1,3,7)}, 田中ら^{1,3-10)}によると)

雑誌の場合—著者名(全員): 題名, 雑誌名, 巻: 最初頁~最終頁, 発行年

単行本の場合—著者名(全員): 題名, 書名, 編集者名, 版数, 巻数, 引用頁, 発行所, 出版地, 発行年

- (7) 原稿を返却しないのでコピーを手元に残しオリジナルを書留で〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京大病院泌尿器科紀要編集部宛送付する。

- (8) 校正は初校を著者による責任校正とし、再校以降は編集部がおこなう。著者複数の場合校正責任者を投稿時指定する。

- (9) 編集部は原稿の訂正、書き直しまたは返却を指定する権限を保持する。

3. 掲載

- (1) 論文の掲載は採用順とする。迅速掲載には迅速掲載料を要する。

- (2) 紙代、印刷費および最初1頁の組版費は編集部で負担する。残額を実費負担とし、請求は論文掲載誌発行後におこなう。

- (3) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療機具の使用などにかんする研究論文については、掲載料を別途に申し受ける。

4. 別刷

実費負担とし、著者校正時に部数を指定する。

編集委員: 石神 襄次	前川 正信	宮崎 重	新谷 浩
園田 孝夫	友吉 唯夫	桐山 畜夫(副主幹)	吉田 修(主幹)

泌尿器科紀要 第28巻 第8号 1982年8月25日 印刷 1982年8月31日 発行
 発行 吉田 修 顧問 加藤 篤 二 発行所 泌尿器科紀要刊行会
 〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京都大学医学部泌尿器科学教室内 電話(075)751-3327(直通)
 印刷所 山代印刷株式会社 京都市上京区寺之内通小川西入
